

社長交代のご挨拶・長期経営ビジョン

代表執行役社長 交代

長期経営ビジョン・新中期経営計画 発表

挑戦する社風を、 全社員でつくり上げる

2019年3月、指月グループは創業80周年という大きな節目を迎えました。

翌4月には、代表執行役社長に

足達信章(前・執行役副社長)が就任し、

これまで代表執行役社長を務めてまいりました

伊藤薫が執行役会長に就任いたしました。

そして今、新たなスタートに向かって

「長期経営ビジョン」と「新中期経営計画」を掲げ、

社員が一丸となって改革に取り組もうとしています。



80周年ロゴマーク

新たな経営ビジョンと計画の実現に向かって社員の想いをひとつにするため、80周年のロゴマークを作成。シヅキを起点にコンデンサが社会へ広がっていくイメージや、未来へ向かって再出発するという決意を電源マークで表現しています。



バトンを手渡すのではなく、 ゼロからのスタート

執行役会長 伊藤 薫

株主の皆様には、これまで並々ならぬご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。私はこの株主通信のなかで、水泳や陸上競技のリレーを例えに挙げて、めざすべき組織の在り方を述べたことがあります。バトンを渡すまでに併走する期間を設けられる陸上リレーのほうが、チームとして大きな成果をめざせると。しかしこの度の社長交代において、私にはバトンを手渡すという感覚はありません。指月グループの社員たちには、足達新社長のもとで、ゼロからのスタートのつもりで変革を成し遂げてもらいたいという想いがあります。

新しい長期経営ビジョンは、「挑戦」という言葉から始まります。これは社員たちが自ら考えて掲げた言葉です。「挑戦したい」という意志をもった社員がいる限り、皆様から「シヅキは変わったね」と驚き、喜んでいただける日は必ず来ると信じています。

お客さま第一と人間性尊重を両立させる、 新たな道を

代表執行役社長 足達 信章

この度、代表執行役社長に就任いたしました足達信章と申します。私は1983年に入社し、営業統括・技術統括・マーケティング・品質などの部門長、東京支社長、秋田指月の代表取締役などを務めてまいりました。指月グループは、創業以来長きにわたって「お客さま第一主義」を貫くとともに、社には「人間性尊重の精神」を第一に掲げ、働く一人ひとりのやりがいを大切にしてきました。こうした理念は普遍的なものとして、これからもしっかりと受け継いでいきたいと思えます。

しかしその理念を実現させるための方法については、まさにゼロからのスタートという覚悟をもって、お客様にとっても、グループの社員にとっても、より魅力的な組織をつくり上げていきたいと考えております。株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



指月グループ 長期経営ビジョン

— 10年後の指月グループのあるべき姿 —

挑戦する社風へと変革し、
品質第一のモノづくりと、
未来を見据えた新技術・新商品の開発、
グローバルな事業展開の推進により、
社員の夢を実現し社会に貢献する
企業グループになる

2019年度をスタート年とし、2028年度を最終年とする10年間の「長期経営ビジョン—10年後の指月グループのあるべき姿—」。そして、そのビジョンを実現するための「5つの指針」を、社員たちが話し合いを重ね、ボトムアップで作成いたしました。

長期経営ビジョンの実現に向けた5つの指針

指針

- 1 挑戦する意欲と行動を評価し、挑戦する社員を育成・サポートする会社
- 2 独自の品質管理体制を構築し、品質第一の覚悟を持つ会社
- 3 コンデンサ技術をコアとし、未来を見据えた新技術・新商品を開発する会社
- 4 積極的に海外へ展開するグローバルな会社
- 5 社員一人一人の人生・生活を大切に、仕事のやりがいを提供する会社